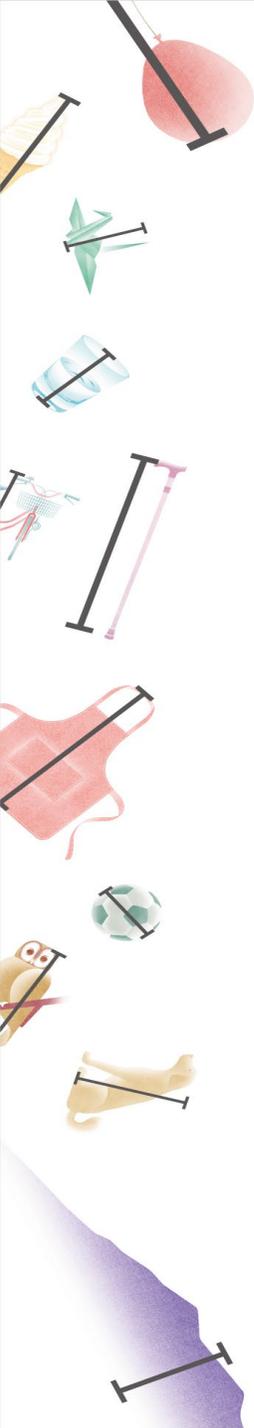




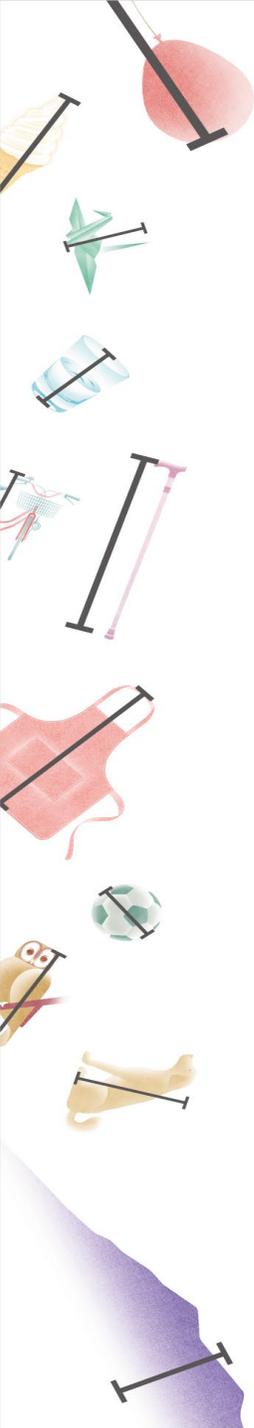
# みかん箱プロジェクト運用モデル報告

つくば市立中央図書館



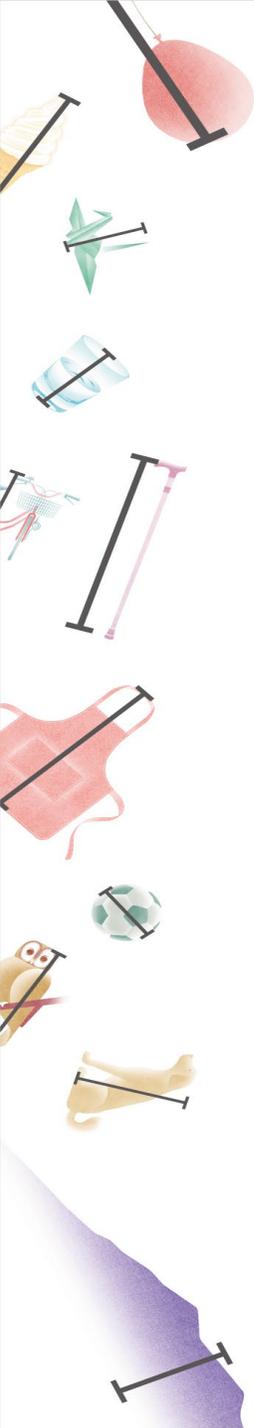
# 1 今回の参加にあたっての考え方、 及び参加・不参加の判断ポイント

- ① 高齢者サービスや障がい者サービスなどへの  
取り組みの遅れ
- ② 参加することによるメリット
  - ・ 職員の見識を高める
  - ・ 利用者ニーズの把握と掘り起こし



## 2 「受け入れ先の確認」として 実施した内容

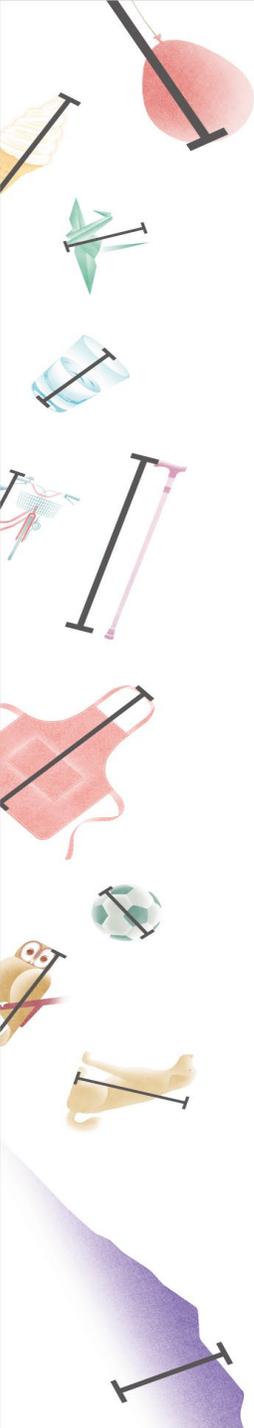
- ① 市内の児童・生徒の中での要支援者の確認  
→該当者無し
- ② 関係者との協議
  - ・ 社会福祉協議会及び障がい者施設等の代表者が集まる会議でみかん箱プロジェクトの説明
  - ・ 各事業所での活用、他事業所での活用の可能性についての情報提供を依頼



### 3 具体的な取組事例（概要）

次の2施設で実施  
機材を持参し使用方法等を説明

- ① 特別支援学校 在籍数：小学生から高校生まで416名  
（課題）図書館からの資料提供を充実させれば利用が見込める
- ② 特別養護老人ホーム 定員数：39床 通所定員：18名  
（課題）
  - ・ 機材の充実があれば利用増の見込み
  - ・ 施設スタッフに頼らざるを得ない



## 4 プロジェクトに参加しての感想

- ① 個人ユースの難しさ  
機器の貸出・返却が煩雑  
スマートフォンで十分？  
施設等へ機器を普及させる
- ② これらのサービスについてのさらなる周知  
イベントなどを通じて認知度向上